

こんな声がありました！

無香料なのににおいが気になる…。

「無香料の化粧品のお話」



CO-OP



この化粧品、
無香料なのに
においが気になるわ。

たしかににおいが
するね。
私は気にならない
けれど。



においがないと
思ったから
買ったのに…。

どうしてかな？
はかせに聞いて
みよう！



無香料 = 無臭、という
わけではないからじゃ。

「無香料」とは「成分に香料を配合していない」ということを意味しています。

化粧品を開発する際には、安全性、においなどを考慮して原料を選んでいます。原料のにおいを完全になくすことはできません。

においの感じ方は、体調や個人差のほか、温度や湿度など環境によって異なりますが、無香料の化粧品ではそうした原料特有のにおいを感じる場合があります。



POINT

原料のにおいを感じにくい
化粧品ってないの？

香料は香りを楽しむだけでなく、原料のにおいをカバーする目的で使用される場合があります。

メーカーによって方法は異なりますが、このようににおいを感じにくくさせた商品は「無香性」、「微香性」と表記されることがあります。

「無香性」は香りそのものが感じにくいもの、「微香性」はほのかに香料の香りが感じられるものが一般的です（香りは楽しみたいけれど、強い香りはお好みでない方向けの表現としても用いられることがあります）。

豆知識

化粧品の成分について

化粧品に使用される香料は、国際基準でお肌に対する安全性が厳しくチェックされたものばかりです。

また、化粧品は法律により使用する成分について規制が定められているほか、各メーカーが安全性を確保することが義務付けられています。

そのため各メーカーでは、化粧品の商品開発時に成分の安全性を確認するのはもちろんのこと、商品を皮膚に貼り付けて反応を見るパッチテストや、多くの方に実際にご使用いただくモニターアンケートを行って使用感などを確認しています。



においがしない
わけじゃないのね！

